

平成28年第8回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成28年8月31日(水) 午前9時00分

2. 招集場所 若柳総合支所 会議室3・4

3. 出席委員

1番	笠間 八十公 委員	2番	佐々木 一彦 委員
3番	亀井 芳光 委員	4番	白鳥 正文 委員
5番	千葉 みどり 委員		

4. 説明のため出席した者

部長	佐藤 義郎
次長	鹿野 有三
次長	小野寺 一浩
教育総務課長	白鳥 嘉浩
学校教育課長	加藤 栄悦
教育研究センター副参事	古山 明宏
社会教育課長	菅原 良昭
文化財保護課長	高橋 久悦

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 白鳥 明美

6. 開 会

午前9時00分

教育総務課長 ただいまから平成28年第8回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。
一同礼。 御着席願います。

本日は、委員5名の出席でございます。それでは開会の挨拶を教育委員長よりいただき、その後、教育委員長の進行のもとに進めていただきますので、よろしく願います。

7. あいさつ

佐々木委員長 台風10号が通り過ぎました。災害対応本当にご苦労様でした。台風の東北太平洋側への上陸は気象庁の観測以来始めてとのことでしたが、8月に入って台風が続きました。しかもそれが特異なコースをとって、原因は列島周辺の高気圧の勢いの影響ということでした。今後も台風の襲来が予想されます。情報の把握や事前の備えをしっかりと被害を最小限にしなければと思いを新たにしました。

今月22日に栗原市北部学校給食センター業務開始式が行われました。先に施設見学のお機会をいただき、見学したときには、最新鋭の設備に驚いてしまいました。私事ですが、15年前、他地区で学校給食センターの運営に関わっていた時は、給食室はホースの水で流して掃除をしているという状態でした。将来はドライ方式で、乾燥状態の清潔な施設になると聞いて、いつのことだろうと思いました。今回、北部学校給食センターのコンテナを一気に洗浄するシステムや調理員の衣服の埃を除去するエアシャワー、真空冷却機等を見たときは隔世の感がし

ました。ご存知のように、昨年12月に日本食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。それだけではなく、日本の伝統的な食事は、理想的な栄養バランスで、見た目の美しさや食べやすいイメージがあり、世界各地で少なからず、日本食ブームになっている様子がテレビで何回か放映されていました。一方日本人の食生活に関して、しばらく前から不規則な食事や肥満、摂食障害、食の安全などの問題が顕在化し、最近では経済的理由による朝食の欠食等も話題になっています。食育の対象はあらゆる世代ですが、特に子どもへの食育は、心身の成長や人格の形成に大きな影響を及ぼすと言われ、知育、徳育、体育の教育の3要素の土台と位置づけられて、食育が改めて大切な着目を浴びていることだと思います。給食試食会で、最新の恵まれた設備で作られた給食をおいしくいただきながら、栗原の子どもたちがしっかりした食生活の中で元気いっぱい活躍できることを祈念いたしました。

さて、過日、宮城県教育委員会・市町村教育委員会教育懇話会県北圏域会議が、登米合庁で開催されました。その折に、宮城県教育委員会から2つの報告・説明がありました。

1つは、第2期宮城県教育振興基本計画についてです。先に、60年振りに改正された教育基本法の規定により、平成22年に策定した最初の宮城県教育振興基本計画を受けて、新たに作られるものであります。提案された案では、3つの柱として「学ぶ力、心と体、復興・郷土愛」があります。復興・郷土愛は1期よりも強調された部分であります。その土台には志教育の継続・発展を掲げています。この計画は、今後10年間を見通す宮城の教育の大元になります。提示された案では詳しく触れてなかったのですが、第1期の達成状況を厳しく精査して課題を浮き彫りにし、来年3月には、宮城の教育の総合力を底上げできる計画をまとめてほしいと思いながら説明を聞きました。

2つ目は学校教職員の新たな職員評価制度についてです。去年まで行われていた職員評価制度は平成18年度から実施されてきました。これは、教員が自己目標を設定し、管理職と面談しながらその達成に努力し、本人が年度末に自己評価をして、管理職が最終評価をするというシステムでした。この制度では、評価結果を給与・人事等へ直接反映しないということで実施してきました。

今年度試行に取り組んでいる新たな取り組みは、平成26年の地方公務員法の改正が背景にあります。改正法では、人事評価の目的は、能力及び実績に基づく人事管理の徹底を図るためであるとし、当然、評価の結果を任用、給与、分限等の資料として活用すると明言しています。これをスムーズにする1つの手段として自己評価のほかに、資質能力育成評価を新たに導入しました。

私の個人的な感想ですが、これまでの職員評価制度がスタートから10年をかけてやっと定着してきたという感想を持っています。新たな職員評価制度を来年の4月から導入するわけですが、その成果を挙げるためには、旧制度の導入時を上回る準備と配慮が必要だと痛感しています。元々人の勤務の評価は、非常に敏感なものですが、それが給与や人事に繋がるとなると殊更の緊張感があります。職員のモチベーションの維持、管理職と評価される職員の関係、実際に評価する管理職の能力、とりわけ評価能力の底上げが必要になります。他にも組織力の維持、職場風土の醸成等々、本格実施の来年4月までの短い期間に、クリアすべき課題が山積しているのではないかと私は思っています。この制度の趣旨をよく理解できない職員がいたり、日程的な条件を含めて各学校で話題になっていますが、それに適応できない職場があったりして、課題が残されたままの状態で見切り発車になってしまうと現場が混乱してしまうことは明らかです。そうならないように、本制度の周知や啓発、研修等の取り組みをこまめに確実に重

ねてほしいと願っています。

県教委の提案2つについての感想を言いましたけど、どちらも今後10年も20年も続く土台ですので、あえて時間を割いて話させていただきました。本日のご審議、よろしくお願ひします。

8. 前回教育委員会会議録の承認

佐々木委員長　それでは、日程1、前回教育委員会会議録の承認について、お諮りします。事務局に内容の説明を求めます。

事務局　平成28年7月20日、金成庁舎201会議室において開催されました平成28年第7回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は「議案第46号 栗原市立小学校の廃止及び設置について」を含む6議案でございますが、全て承認可決されました。

以上でございます。

佐々木委員長　説明が終わりました。この内容について、ご質問等はございませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長　ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

9. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐々木委員長　日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

4番の白鳥委員と5番の千葉委員をお願いいたします。

10. 教育長報告

佐々木委員長　日程3、教育長報告を行います。

教育長から報告をお願いします。

亀井教育長　おはようございます。本日は朝早くからの会議、委員の皆様には感謝申し上げます。台風が心配されたところですが、無事に中学校駅伝大会も開催出来そうで、一安心しているところでございます。台風10号の被害であります。瀬峰小学校と玉沢小学校において倒木の報告、その他雨漏りの報告が数件ありましたが、特に大きな被害はございませんでした。なお、台風の関係で、8月30日は市内小・中学校、幼稚園は臨時休校、休園とさせていただきますので、ご理解賜りたいと思います。

それでは、一般事務報告をさせていただきます。7月定例会以降の、私に対応した行事は別紙資料がございますのでご覧いただきたいと思います。その中で、いくつかのことを報告させていただきます。

まず、市政懇談会ではありますが、前の会議の時には5か所終わっていましたが、その後また5か所で行われました。その中で、大きな質問はなかったのですが、築館地区において、部活動のあり方をもう少し検討してくださいという意見が出ました。「あんなに練習して、疲れがたまっても、勉強できるのか。もうちょっと考えていかなければいけない。」という意見でした。その辺は一考を要する時期なのかなという気がします。これらを受けまして、今度は9月6日に、この花さくや姫プラザを会場に、市内全ての行政区長さん方と市長、部局長等との話し合いが持たれる予定となっております。

次に、青空大使事業ですが、成果大で終わることが出来ました。講師になられた笠間先生、

本当にありがとうございました。その発表会が、9月3日に栗原文化会館でありますので、よろしく願いいたします。

次に、市内オリンピック代表選手の活躍ということでございますが、残念ながら予選敗退でございましたが、日本の代表として、しっかり頑張ってくれました。褒めたたえたいと思っていますところでは。

次に、8月22日に、北部学校給食センター業務開始式、試食会を行ったところでありますが、その後、安全な給食提供の推進ということで、保護者の皆様のご理解を得た中で、二者択一式のアレルギー食の提供を開始したところでございます。サービス低下にならないようにというのが私どもの努めでありますので、2名ほどは従来通り個別対応しております。それはこれまでやってきたからであり、これからの方に対しては対応しないということでありますので、ご理解いただきたいと思います。

次に、圏域別教育懇話会については、先ほど委員長さんが話されましたので、割愛させていただきますが、教職員の不祥事防止については、最近新聞を賑わしております、飲酒運転や青少年保護条例違反などで、懲戒処分を受けるケースが多いということで、9月13日に仙台合庁に教育長等が集められまして、不祥事防止県教委通達が行われることになっております。市内におきましても、交通違反等ありますので、その辺含めながら、さらに、事故防止、不祥事防止に努めていきたいと思っていますところでございます。

次に、今日は市の駅伝大会が行われているところでありますが、1位と2位のチームが出場する県大会は、9月30日、グランディ21を会場に行われる予定となっております。

次に、大学スポーツ部の市内での合宿ですが、獨協大学野球部、立教大学・武蔵大学ホッケ一部、東北学院大学空手道部がそれぞれ市内に宿泊して合宿を行いました。教育委員会としては、差し入れなどを行いながら、次年度に繋がるよう働きかけてまいりました。

次に、文化財保護課の事業といたしまして、7月21日から8月25日までの間、栗原遺跡発掘写真パネル展を開催し、一迫山王ろまん館を会場に、展示を行いましたので、報告いたします。

それから、栗原地区の生徒指導状況の6月末ですが、小学校は、いじめ事案4校7件の報告がありました。授業妨害等は3校168件、万引き1件、不審者による声掛け1件であります。中学校はいじめ5件、その他1件であります。なお、7月末現在の資料は本日お渡ししています。こうやって見ると、授業抜け出し等が中学校より小学校で非常に多いという傾向があります。多動的な子どもが非常に多くなってきているという状況でありまして、家庭での躾もあるかもしれませんが、小学校のほうが危惧されるという状況であります。また、いじめにつきましても、7月もありましたが、ラインによる悪口等ありますので、その辺徹底して指導していく必要があるかと思えます。継続するということが良くないので、「継続指導中」もありますので、早期解決に向けて、学校と足並みを揃えながら、指導しているところでございます。なお、8月24日に学校が始まったわけですが、出席状況を調べたところ、小学校は不登校と思われる児童の欠席が3名居りました。昨年より5名減です。中学校は25名居りました。昨年より3名多い状況です。やはり、中学校においては、授業抜け出し等よりもむしろ不登校対策が必要かと思えます。夏休み中の児童生徒の事故であります。万引き等がありました。それから、教職員は、スピード違反、シートベルト未着用、自損による物損事故、自転車との接触、駐車場内での接触、運転免許証の更新遅延がありました。その他に、駐車場に行こうとして草むらから出てきたマムシに咬まれて入院した職員もいました。十分な注意喚起が必要であります。

次に、重大事態発生時における初期対応の手引きに関するPTA役員等説明会がありました。家庭と学校と地教委が連携していじめ防止にあたり、共通理解を図った中で、いじめ対策に努めていかなければ効果がないということで行った会議であります。弁護士の先生をお招きして、いろいろな形で教えていただきました。73名のPTAの方々の参加がありまして、大変良かったなあと思っています。

それから、「みやぎ単元問題ライブラリー 宮城県算数チャレンジ大会2016」ですが、6年生が3人1チームとなり算数問題に挑戦します。ここで予選会をして、本戦が仙台であります。市内では18チームが参加しました。その結果、トップは築館小学校チームで、そのチームが9月11日の本戦に参加することになりましたので、報告いたします。

次に、1学期末のまとめの時期については、こちらに記載のとおりです。

次に、教職員管理職の選考試験は、校長候補8名、教頭候補39名が受験することになります。それから、平成29年度教職員採用選考試験の第1次試験合格者数の資料は別紙にありますので、後でご覧いただきたいと思います。

その他といたしまして、学校教育課の高橋副参事が検査入院中であります。定例議会は9月13日から10月6日までの予定で行われることとなります。その関係で、9月の定例教育委員会の日時等は後で調整させていただきます。

それから、9月に入りまして、敬老会が各地区で行われます。その一覧表を配布してございますので、ご覧いただきたいと思います。なお、子どもたちに対しては、敬老の精神で、学校においても、そのような指導をするよう話しております。

最後に、ジオパーク副読本が、理科の教材、ふるさと学習の教材、防災教育の教材として、出来てまいりました。皆様に配布いたしましたので、是非ご活用いただきたいと思います。

私からは以上でございます。

佐々木委員長

只今の一般事務報告についてのご質問はございませんか。

笠間委員

算数チャレンジ大会の件ですが、参加チームは先生が選抜するのでしょうか。それとも、子どもたちが自主的に参加するのでしょうか。

亀井教育長

学校によって、先生が選抜してチームを作ったり、手挙げ方式でやったりしているようです。ただ、そういうことを意識して取り組んでいる学校と、無関心な学校と、差があるのかなと思っています。

白鳥委員

大学の合宿ですが、ホッケーについてはわかりますが、獨協大学の野球部と東北学院大学の空手道部は、どこの施設を利用して合宿したのですか。これは、地域振興のためにも、非常にいいことだと思いますので、今後に繋げてほしいと思います。

教育部長

獨協大学の野球部ですが、宿泊先はハイルザーム、練習会場は栗駒球場で、5日間キャンプをしていただきました。立教大学の女子ホッケー部と武蔵大学の男子ホッケー部につきましては、宿泊先はエポカ、練習会場は築館多目的競技場でした。それから、東北学院大学工学部空手道部につきましては、宿泊先はホテル浦島、練習会場は築館体育センターでした。今年の夏は多くの大学に合宿に来ていただいたと思っております。

亀井教育長

付け足しますと、立教大学のホッケー部につきましては、市内高校生と交流試合を行いました。獨協大学はプロ級の方たちがコーチをしておりまして、来年度来た際には市内の生徒たちと交流をしてくださいとお願ひしました。そういう交流を通してやっていくこともひとつの手段かなと思います。そのように働きかけていきたいと思ひます。

佐々木委員長

問題行動の中に、「授業妨害、抜け出し」とありましたが、今4年生というと、3年生の頃も

あったのでしょうか。もしあったなら、特別支援の申請等は学校では出していなかったのでしょうか。

小野寺次長 2年生の時まで、やはり、落ち着きがないというので、市から補助員さんをつけてもらって対応していたようです。3年生の時は、担任が厳しく指導したこともあり、若干落ち着いていたようですが、クラスの中に多動の子が非常に多い学級でございまして、特別支援の申請に該当しない部分もありますので、そのまま4年生にあがってきたという状況でございます。4年生になって、担任が自主性を重んじて指導したというのもあったかもしれませんが、少し、はじける子が増えてきて、なかなか収拾がつかない状況です。PTAの方々にも、臨時の保護者会などを開いていただいて、学校と一体となって取り組んでいただいているところで、市でも補助員を1名付けております。学校も、フリーの学級担任以外の教諭が交替で対応をしているところであります。

佐々木委員長 市の補助員は、今回これが顕在化して付けたのですか。

小野寺次長 はい、そうです。

佐々木委員長 それで改善の方向は見られますか。

小野寺次長 やや、落ち着きは見られてきました。

亀井教育長 力のある先生が担任なのですが、それでも難しかったんですね。18人のクラスで、そのうち12人が何かしら問題があつて、時間がかかるようです。保護者の協力がないと難しい、落ち着かない状況です。

佐々木委員長 他の子どもの学習環境を是非守っていただければと思います。

笠間委員 抜け出しというのは、授業が始まってから落ち着かないで出て行くのか、それとも、休み時間の間はどこかに行ってしまうのでしょうか。学校の中には留まっているのですか。

小野寺次長 授業中の抜け出しが非常に多いということございまして。1人騒ぎ出すと、他も騒ぎ出すという状況でございまして、そっちに手をかけている間にすーっといなくなることがあります。それで、フリーの先生方が常に目を光らせて対応している状況です。付け足しですが、学力保障という面で、学力の進行状況に応じた授業形態を取っていかうということで保護者とも共通理解を取っているところでございます。

佐々木委員長 他に質問ございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ないようですので、日程3、教育長報告を終わります。

1.1. 専決処分報告

(人事案件のため秘密会)

1.2. 議事

佐々木委員長 日程5、議案第52号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出についてを上程します。内容の説明を求めます。教育総務課長。

教育総務課長 議案書3ページをお開き願います。議案第52号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出についてを説明いたします。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、平成27年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施したので、4ページの(案)のとおり栗原市議会議長宛提出することについて承認を求めるものです。

この報告書の内容につきましては、先に皆様方のお手元に配布してございます「点検及び評

価の結果報告書」でございます。報告書の1ページをご覧ください。趣旨につきましては、ここに記載しておりますとおり、平成19年の教育委員会制度の法律に改正によりまして、点検・評価を行い、報告書を作成し、市議会に提出することとなっております。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第26条第2項におきまして、報告書の作成に当たっては、学識経験者の知見の活用を図ることと規定されておりますことから、7月6日に宮城教育大学の吉田剛先生及び永井信幸先生にご依頼いたしました。その後、8月10日に両先生からご意見をいただきましたので、そのご意見を踏まえまして、39ページ以降に「今後の方向性」を作成いたしました。これらを報告書としてまとめ、市議会に提出するにあたり、教育委員会の承認を求めるとのことでございます。

両先生方のご意見は、7ページから36ページまで具体的な事業項目毎に記載されております。また、総評として37ページと38ページに記載してございます。

以上、よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

佐々木委員長
白鳥委員

説明が終わりました。ご質問ございませんか。

18ページの防災教育の関係ですが、取り組みと成果のところを見ると、不審者に対する防犯対策もやっているようですが、昨今やはり不審者問題が騒がれております。今後も無いとも限りませんので、これにつきましては、防災と併せて防犯も先生方に意識付けをしていただいて、毎年対策を講じる意識を持ってもらいたいと思います。

教育総務課長
佐々木委員長

はい、承知しました。

9ページですが、公表する文書として見た時に、「学識経験者の意見」の大学の先生のコメントですが、「まず進められる地域から再編を進め…」のくだりは、平成27年度事業のコメントとしては、相応しくないのではないかという気がしました。第1次計画からずっと進めてきたわけで、残りわずかになった段階でこの表現はどうかかなと思いました。

亀井教育長

たしかに、委員長さんおっしゃるとおり後期計画の終盤に入っています。来年度は築館と玉沢がいっしょになるのは決定していますし、その他に、先日は高清水と瀬峰の中学校PTAのほうから再編に合意するという意向をいただいております。残っているのは、宮野地区がむずかしいという状況までできています。ただ、この「取り組みと成果」をみての感想なので、大学の先生が経過を良く理解できていなかったのではないかという気がします。

佐々木委員長

依頼するときに文書だけだったのだと思いますが、電話でのやりとりとか、書いたものをみて、もし気付いたことがあったら、電話で確認して説明して直していただいた方が、大学の先生のためにもいいのかなという感想を持ちました。その辺コミュニケーションを取りながら、わからないところはやり取りするシステムにしてはどうでしょうか。公的な発表としては、ここは入れない方がいいのかなと思いましたが、検討ください。

教育総務課長

一度、大学の方に確認させていただいて、この文言について削除するかどうか検討させていただきたいと思えます。

白鳥委員

今のところの関連ですが、評価「C」というと、やや目標に達しなかったということですが、これでよかったですでしょうか。学校再編のことであれば、大体は目標のとおり進んでいるのではないかというイメージがあるのですが、どうでしょうか。

教育総務課長
亀井教育長

宮野小学校の再編の目途が立っていないということで、Cとしました。

つまり、ここの評価というのは27年度の評価であり、27年度段階ではCですが、28年度の評価では、取り組みが進みましましたので、BなりAという評価に移るのかなと思います。

佐々木委員長

他にないようですので、先ほどの9ページの件を確認して、原案のとおり承認してよろしい

ですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議がないようですので、原案のとおり承認することといたします。

佐々木委員長 お諮りします。人事案件及び個人情報であります、日程6、議案第53号、栗原市就学指導委員会専門委員の人事について、日程7、議案第54号、栗原市就学指導委員会に対する諮問について、日程8、議案第55号、要保護及び準要保護児童生徒の認定について、の3案件を秘密会としてよろしいでしょうか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、日程6から日程8については秘密会とします。

ここで、関係職員以外の退席のため暫時休憩します。

13. その他

(1) 各課報告

佐々木委員長 本日の日程が終了しましたので、これより各課報告事項に入ります。学校教育課長。

学校教育課長 資料5ページになります。最初に、英語でチャレンジの実施報告についてであります。この事業につきましては、8月2日、この花さくや姫プラザにおいて実施いたしました。30名の募集に対して50名の児童から応募がございました。今回は、抽選で参加者を決定し、当日は35名の児童が参加したところでございます。成果・課題等につきましては、後ほどご覧いただきたいと思いますが、終了後のアンケート結果におきましては「とても楽しく活動することが出来、来年も参加したい」との意見が多くございました。また、活動内容につきましては、少人数でのカルタ取りやクッキングなどの活動を実施したことにより、ALTとの関わりが多くなり、英語に慣れ親しむことが出来たようでございます。英語でチャレンジの活動も今年度で6年目ということになります。今回募集しました人数30人を大幅に上回る申し込みがございました。当初予定しておりましたALT5名を6名に増員し、また、抽選で参加者を決定して対応したところでございますが、10月の秋休みにも、同事業を開催する予定でございますので、抽選漏れの14名につきましては、優先して参加できるよう配慮したいと思っております。

続きまして、6ページでございます。英語でキャンプの実施報告です。こちらの事業は、8月3日から4日の1泊2日の日程で、国立花山青少年自然の家において実施いたしました。15名の募集に対して21名の5年生と6年生が参加したところでございます。終了後のアンケート結果をみますと、参加した児童は、「とても楽しく活動することが出来た」とのことで、英語でのコミュニケーションについても、ほとんどの児童生徒が「上手にできた」「まあまあできた」と回答をもらっているところでございます。どの児童も、英語に対する関心、意欲が高く、ALTとも積極的に関わろうとする姿勢がみられたところでございます。今年度につきましては、野外活動にこだわらず、本来のねらいの、積極的に英語でコミュニケーションを図るということに重点を置いて実施したところ、全員の児童が、2日目には、自己紹介と、2日間の感想を英語で発表できるようになりました。また、多くの時間をALTと関わることで、自然に英語に慣れ親しむことが出来、達成感や充実感を味わうことが出来たことがうかがえたところでございます。このことから、所期のねらいは達成できたものと捉えているところでございます。また、達成感や充実感を味わえたことで、今後の英語の学習に向けての意欲が高まった等の成果がみられたところでございます。

続きまして、7ページでございます。こちらは、平成28年度学び支援コーディネーター等

配置事業学府くりはら塾「夏休み学習会」でございます。今年度につきましても、学習習慣の形成、基礎的基本的学習内容の定着、それから活用する力の育成を通じた学力のレベルアップを図ることを目的に、8月10日から12日までの3日間の日程で、栗原文化会館と栗原市教育研究センターを会場に、小学校3年生から6年生まで180名の児童の申込を受け、実施したところでございます。指導者につきましては、教職員経験者の学び相談員18名の他、学び支援員として宮城教育大学の学生15名の協力を受けて実施しました。今回は、相談員を多く確保できたことで、児童の参加等に対応でき、学び相談員、学び支援員が子どもたちに適切に対応したことで、学習に集中して取り組む姿がみられ、子どもたちからも、「集中して取り組めて充実感を味わえた」という感想を多く寄せられたところでございます。

続いて、8ページでございます。平成28年度「もっと学びたい子どものための学府くりはら塾」についてであります。本事業は、今年度で9回目の開催でございます。宮城教育大学の連携事業として、中学生を対象に、夏休み前までに学習した国語、数学、英語の3教科について、宮城教育大学の学生が講師となって、生徒が抱える教科の課題や弱点の克服を図ることを目的に、8月16日から20日までの日程で、栗原市教育研究センターを会場に、中学校1年生から3年生114名の申込の下実施したところでございます。なお、17日は、台風の接近によって、急きょ休校としたところでございます。今年度、講師として協力をいただいた宮城教育大学の学生につきましては14人で、延べ41人の学生の方々に指導をいただいたところでございます。授業の内容につきましては、学生自らが作成したプリント問題等を活用しまして、生徒の苦手意識の確認や課題克服を行ったところでございます。毎日の最後の時間に、生徒から、家庭学習の仕方や、3年生につきましては、高校受験に向けた対策等の相談を受ける時間を設けたところでございます。学習内容につきましては、生徒からも好評で、「分かりやすかった」「しっかりと復習できた」「来年もまた来たい」等の感想が寄せられたところでございます。学生側からも、「貴重な体験で、大変勉強になった」等の感想が寄せられ、宮城教育大学のほうからも効果的であったとの評価を受けたところでございます。

続いて、資料9ページでございます。平成28年度全国中学校体育大会結果についてでございます。今年度の全国中学校体育大会には、市内の中学校4校の生徒が、7種目の競技に出場したところでございます。結果については、記載のとおりでございますが、栗駒中学校相撲部におきましては、団体戦で決勝トーナメントに出場する等、活躍を見せたところでございます。その他については、残念ながら予選敗退といったところでございます。

以上でございます。

佐々木委員長
笠間委員

学校教育課関係の説明について、ご質問ございますか。

英語でチャレンジですが、今回で6年目ということですが、例えば、3年生から6年生までが対象で、高学年のお子さんたちは、以前から参加していたのでしょうか、それとも、初めてのお子さんが多かったのでしょうか。

学校教育課長
笠間委員

英語でチャレンジは、リピーターが結構多くいるようでございます。

先ほど、県の学力テストの話が出ましたが、中学生になると英語が県平均よりも下がるという話でしたが、例えば6年前に参加したお子さんと今中学生になっていますよね。こういう事業に参加して、英語に興味を持ったお子さんは、中学校に入ってからどうなのでしょう。そういう追跡調査みたいなのは出来ないのでしょうか。小学校では皆英語が好きだけど、中学校に行くと嫌いになるというのがあるみたいで、それが、「好き」から、うまく勉強の方に移行できないと、なかなか学力が上がらないのかなと思います。

- 学校教育課長 たしかに、笠間委員さんおっしゃるとおり、小学校の時には英語活動が楽しいという児童が多いのですが、中学校に行ってから、「読む」「書く」等の学習領域が入ると、関心が薄れてくるというか苦手意識を持つ等という面が出てくることもあるのだと思います。英語でチャレンジの参加者の動向というのは現在のところ把握してございませんので、今後検討してまいりたいと思います。
- 亀井教育長 今回の件については、青空大使のことも笠間委員さんからご意見いただいておりますが、単発で終わらず、その後子どもたちの状況も、ある程度把握しておくようにしていけないと思っておりますので、継続していくようにしていきたいと思っております。
- 笠間委員 それから、中学生の学習会の件ですが、男女比が書いている場合、圧倒的に女の子の方が多いですよね。学力テストの結果等は学年ごとに出てくるかと思うんですが、男女比でも出てくるのですか。女性の方が積極的なので、そういうのが反映されているのかどうかと思ったのですが。
- 小野寺次長 市に来る調査結果だけでは男女比は分からず、学校ごとだと、個別に拾っていけば出てくるのですが、全体的なものは、あくまでも、学年の国語の基礎とか活用とか、場面に分けての点数しか出てきません。学校で個別に調べれば分かります。
- 笠間委員 女の子のほうが積極的な感じがするので、それが学力に反映されているのかどうかかなと思いましたが。
- もうひとつ、もっと学びたい子どものための学府くりはら塾ですが、「生徒が抱える教科の課題や弱点を克服し」とあります。子どもたちは苦手なところを克服したい思いがあり、授業は講義中心の組み立てやプリント問題とありますが、先生方はその子どもが、自分がどこを弱点として克服したいのか把握して、プリントを作っているのですか。先生があらかじめプリントを作って授業をするのであれば、それがその子の弱点かどうかわからないんじゃないかと思いますが。
- 学校教育課長 プリントにつきましては、各学校で、夏休み前どこまで進んだかという情報提供を行いました。それに基づいて学生が自ら作成したものでございます。弱点の克服等につきましては、講義の時間が終わった後に、学生との相談、意見交換の時間を設定してございますので、そういった中で自分の悩みとか、どういった学習の進め方をしたらいいのかを、年の近い大学生の方々から教えられるといった形で進めたところでございます。
- 佐々木委員長 では、次に社会教育課長。
- 社会教育課長 資料の10ページをご覧ください。今年度の市民運動会の開催についてです。全て、今年の日曜日の9月4日に開催されます。地区毎、18会場でありますので、それぞれの場所でご参加をお願いしたいと思います。
- 次のチラシでございますが、栗原みてけらいん美術展が9月9日から18日まで、栗原文化会館で開催されます。さらに、チラシはございませんが、9月24日から10月1日まで、栗原書道展が栗原文化会館で開催されます。よろしく願いいたします。
- 以上で社会教育課からの報告を終わります。
- 佐々木委員長 只今の説明についてご質問はございますか。
- 「なし」の声あり
- 佐々木委員長 では、次に文化財保護課長。
- 文化財保護課長 文化財保護から報告いたします。1点目は、教育長報告にありました「栗原遺跡発掘展」ですが、今年度初めて7月21日から8月25日までの実質31日間、一迫埋蔵文化財センタ

一の一角を会場に開催しました。内容としましては、平成27年度発掘調査を実施した中から、築館地区の「伊治城跡」「下萩沢遺跡」、瀬峰地区の幼保施設建設に伴います「清水山Ⅰ遺跡」この3か所の発掘調査の状況をパネル及び出土遺物を展示させていただきました。来場者につきましては、前年度と比較しますと、約、倍近い141人ほどあったということで報告を受けております。それから、8月27日の栗原市民まつりでも1ブースもらい、引き続きそちらでも展示させていただき、啓蒙・啓発を図ったところでございます。この市民まつりにつきましては約150名ほどの見学者があったと聞いたところでございます。

もう1点でございますが、9月19日の月曜日に、伊治城に関するシンポジウムが栗原文化会館で開催されます。こちらは、東北学院大学のアジア流域文化研究所主催の公開シンポジウムということで、「栗原市伊治城跡から読み解く東北古代史」と題しまして、シンポジウムが開催されます。教育委員会も共催という形で対応することとしておりまして、調査成果ということで、文化財保護課の安達主査も講演する予定となっております。その他、県文化財保護課、東北学院大のほうから講演がありますのでお知らせいたします。よろしくお願いいたします。

(2) その他

佐々木委員長
亀井教育長

各課報告が終わりました。その他に入ります。

ひとつお詫び申し上げます。以前の委員会の際に栗原中央病院の分教室の話がございまして、人数状況の資料を次の委員会に出すという話をした記憶があるのですが、忘れておりまして申し訳ありません。次回の委員会の際に参考資料として出させていただきますので、その辺協議していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

教育部長

私のほうから2点お話しさせていただきます。

台風の対応につきましては先ほど教育長がお話ししたとおりでございますが、幼稚園、小学校、中学校については臨時休校にさせていただきましたが、幼稚園の預かり保育、小学校の放課後児童クラブにつきましては、まず幼稚園につきましては保育所と同等のサービスを提供することとしてございますし、放課後児童クラブにつきましては、保護者の就労支援の側面もあるということで、台風の恐れはあったのですが、これらについては朝から夕方まで実施をいたしました。ただ、小・中学校が休みなので、当然給食もストップし、併せてスクールバスもストップしていますので、基本的には安全を考えて自宅で過ごしてほしいのですが、保護者の仕事の関係でどうしてもという場合に限り、保護者の送迎、弁当持参という条件で受け入れをいたしました。幼稚園の預かり保育は約5パーセント程度、小学校の放課後児童クラブは2割程度の方が利用したという状況でございますので、報告いたします。

次に、8月28日、日曜日に栗原文化会館で仙台フィルマイタウンコンサートが開催されました。今年、今までと違ったことは、市内の中学、高校の吹奏楽部の皆さんとコラボをしようということで、練習会を2回ほど、仙台フィルの方と東京佼成ウインドオーケストラの田中靖人さんに事前に指導をいただいて、当日、仙台フィルの皆さんと共演をいたしました。通常のオーケストラの音とはまた違った吹奏楽の響きで、全部で457名の方に来ていただきましたが、お客様は非常に感動して帰られたということをつけ加え報告させていただきます。

以上でございます。

笠間委員
亀井教育長

臨時休校になった場合、授業出来なかった分はどうするのですか。

学校には年間授業日数がございまして、若干余裕があります。1日休んでも、最終的にはどの教育課程も終える形になります。

佐々木委員長 以上で各課報告及びその他を終了いたします。

14. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成28年第8回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午前10時45分

15. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第52号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出について

議案第53号 栗原市就学指導委員会専門委員の人事について

議案第54号 栗原市就学指導委員会に対する諮問について

議案第55号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成28年9月28日

会議録署名委員 _____

// _____